

# 笛、笛、笛、篠笛とバンスリー

現代の日本の音楽に外国音楽の刺激を加えたら、新しい音楽が生まれるだろうか？

日本とインドの音楽シリーズは、この設問に対する実験だ。ここでは、縁の遠い西洋音楽ではなく、共通点を持つアジアの音楽、なかでも巨大で緻密な理論体系をもったインド音楽と私たちの国の音楽を比較し、共通点を探って合奏を試みる。祭り

囃子などで我々の耳にも馴染みのある、もっとも日本的な笛、篠笛。地域によってそれぞれ音律が違うというこの不思議な笛とインド音楽で使われる竹のフルート、バンスリーを交互に聴き、それぞれの音楽を紹介する。そして凄腕の演奏家二人が伝統という足場から創意工夫を持って合奏に挑む。みなさんご期待ください。

## プログラム

第一部	日本の笛	民謡、わらべうた、お囃子、オリジナル曲、など 歩月一ツキニホスー（森美和子 作曲） 水々（森美和子 作曲） 守山調（雲南省ゼンポ族伝承曲） 津軽山唄（青森民謡）	ほか
第二部	北インド古典音楽		
第三部	セッション	笛、笛、笛、篠笛とバンスリー	

## プロフィール



ゲスト

森 美和子  
(もりみわこ / 篠笛・能管)

日本の伝統楽器である竹の横笛「篠笛」を吹いて、作曲と演奏活動を行っている。日本の伝統芸能、郷土芸能、また日本古来の身体技法を学んで身体と文化との関わりを追求し、現代に響く日本の音や芸能を再創造しようと試みる。和太鼓グループのメンバーとして活動した後、1997年よりソロの篠笛演奏家として活動をはじめ。ソロ公演を基盤に、様々な音楽家との共演、また舞手や衣裳デザイナーとのコラボレーション公演を行っている。京都、大阪ほか各地で篠笛教室を開催。民俗芸能岩崎伝京都鬼剣舞笛方。能楽の笛を一噌流・一噌幸弘氏に、話を観世流・梅田邦久氏に師事。奄美民謡を上村藤枝氏に師事。  
(ホームページ: <http://fuefuki.org/>)



レギュラー出演者

Hiros; 中川 博志 (バンスリー)

1950年、山形県生まれ。1981年～1984年インドのペナレス・ヒンドウ大学音楽学部薬理科に留学、インド音楽理論を研究。大学のかたわら、バンスリー(横笛)、ヴォーカルを習う。現在、バンディット・ハリプラサード・チャウラスィヤー氏にバンスリーを師事している。演奏会の企画制作、インド音楽理論書の翻訳出版などを通してアジア各国及び日本のパフォーミングアーツ紹介の活動を続けている。訳書「インド音楽序説」は日本語で出版されている唯一のインド音楽理論書。昨年はCAP CLUB Q2で「インド音楽のレンズを通して見えてくるアジア的音楽の可能性」シリーズを企画、レクチャーと実演による全4回の公演はどれも好評を博した。天楽企画主宰。(ホームページ: <http://sound.jp/tengaku/>)



田中 りこ (タブラー)

1989年インド各地を旅行中にインド古典音楽の演奏に触れ、とりわけ打楽器タブラーの豊かな音色と表現力に魅せられ、学び始める。1995年再びインドのカルカッタに渡り、タブラー演奏家オビジット・ベナルジー氏に師事。現在は関西を拠点に、ホールや社寺など各地でインド音楽を中心とした演奏活動を行っている。そのほかテレビ・ラジオ出演、海外での公演、他ジャンルのCD作品に参加など、様々な活動を行っている。

## 第4回 ～ 笛、笛、笛、篠笛とバンスリー ～

- 月 日：12月18日(土)
- 時 間：開場18:30 / 開演19:00 (終演予定 21:00)
- ゲ ス ト：森 美和子 (もりみわこ / 篠笛・能管)
- 出 演：Hiros (ナビゲーター + バンスリー)  
田中 りこ (タブラー)  
石尾 真穂 (タンブラー)
- 料 金：前売予約 ¥2,000 (membership ¥1,600) / 当日 ¥2,500円  
Hirosカレー ¥500 (要予約)
- 会 場：CAP CLUB Q2  
〒650-0041 神戸市中央区新港町4-3 上屋Q2 2階  
phone: 078-959-7707 (当日のみ応答できます)
- 予約・問合せ：C.A.P.事務局 (10:00-19:00 / 月曜休み)  
イベント名、お名前をお知らせ下さい
- e-mail: [info@cap-kobe.com](mailto:info@cap-kobe.com)
- H P : <http://www.cap-kobe.com>
- phone: 078-222-1003
- 主 催：C.A.P. (芸術と計画会議)
- 助 成： 朝日アサヒビール芸術文化財団 M 株式会社マリンビル  
C.A.P. Supporting Membership
- チラシデザイン：駒井 和彬

